

外国籍市民の頼れる存在

日本語支援ボランティア

日本語支援 ボランティアとは

羽村市には約1,400人の外国籍市民の皆さんが暮らしています。

遠い異国の地で生活するには様々な苦労があると思いますが、特に言葉の問題は、生活全体に関わる大変大きな問題です。

こうした方々が、私たちとともに地域社会の中で不便なく暮らしていけるよう、日本語の学習支援を中心に、文化の違いを理解したり、必要な情報提供などのサポート活動をしているのが「日本語支援ボランティア」です。

今、市内には3つの団体（市民活動センターに情報提供いただいている団体です。詳しくは後述のとおり）があり、それぞれ特徴を活かしながら熱心に活動しています。日本で暮らす外国籍市民の、まさに頼れる存在として活

躍中です。

各団体は、年間を通じ定期的に活動していて、随時参加者を受け入れています。

一緒に活動してくれるボランティアも募集中です。興味のある方は市民活動センターへご連絡を。

団体名	日本語ボランティア翼の会(昼の部)	日本語ボランティア翼の会(夜の部)	羽村日本語学習会
活動日	毎週木曜日 (午前10時~正午)	毎週火曜日 (午後7時30分~午後9時)	毎週水曜日 (午後・夜間) 毎週土曜日(午前)
活動場所	コミュニティセンター	コミュニティセンター	福祉センター

◆◆各団体からひとこと◆◆

日本語ボランティア翼の会（昼の部）

「無理なく、楽しく、学び合いましょう。」これが私達の会のモットーで、それぞれのペースと内容でゆったり勉強しています。そのため、「すぐ溶け込めた。ここは故郷みたい。」と言ってくれる会員が多いです。

色々な国の料理を教え合う料理教室、歌やパフォーマンスを楽しむお楽しみ会等、素顔でふれあう機会もたくさんあります。長く続いている翼の会使用は、80代の編集長が心をこめて発行しています。

こんな和気あいあいの昼の部へ皆さんもどうぞ！



日本語ボランティア翼の会（夜の部）

学習形態の基本はマンツーマンです。レベルに合わせた指導を目標にし、希望者には日本語検定受験の対応もとっています。

「生徒たちの日本の実家になろう」を合言葉に、勉強以外にも四季の行事紹介や福祉まつり・羽村まつりへの参加、遠足、各国料理教室、イヤードパーティと様々な行事を取り入れて日本語力向上をはかっています。



■ 恵方巻きに挑戦



羽村日本語学習会

「大きい」と「大きな」はどう違う？ こんな質問にどう答えますか。

教える側も日本語について勉強が必要ですが、初めは知識や経験等なくても大丈夫。文法や教え方など丁寧に指導します。

当会で勉強する方は国籍も日本語力も様々ですが、皆さん楽しく真剣に頑張っていて、私達スタッフも日々刺激を受けています。

興味と向上心のある方、是非見学にいらしてください。



※日本語ボランティア入門講座開催予定！詳しくは団体のひろば(後ページ)をご覧ください。